2013年（平成25年）
6月19日号 №241
年7回(4・6・8・10・12・1・2月) 発行
発行　市川市消防局
〒272-0021　市川市八幡1丁目8番1号
TEL 047-333-2111㈹　FAX 047-333-8181
ホームページ　http://www.city.ichikawa.lg.jp/

こちら119

消防テレホンガイド
☎ (333) 3636
火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

火災・救急件数（5月末日現在）
◆火災　62 件【前年比　＋20 件】
◆救急　8,356 件【前年比　＋45 件】

突然の大雨 集中豪雨に備えよう！

集中豪雨・ゲリラ豪雨とは！

時間的・空間的に集中して降る大雨のことを「集中豪雨」といいます。集中豪雨は、活発な積乱雲によってもたらされ、主に日本付近に前線が停滞している時（梅雨期の終わり頃）や台風が日本列島に接近または上陸して、大気の不安定な状態が続き、次々と雷雲が発生している時などに発生します。

また、夏場などに大気の状態が不安定となって積乱雲が発達し、短時間に局地的に激しい雨を降らせる現象で、総雨量が数10ミリ程度となることを「ゲリラ豪雨」といいます。

この名前の由来は、極めて局地的に雨を降らせ、かつ雨雲の発生から降雨までの時間が短いため、「ゲリラ的に大雨が降る」という意味で一般に「ゲリラ豪雨」と呼ばれています。現在の予測技術では事前に降雨の場所や時刻、雨量を正確に予測することは困難です。

大雨の原因は？

大雨の原因は、ほとんどが前線の通過・接近によるものと、「大気の不安定」などにより発達した積乱雲によるものです。「大気の不安定」とは、地表面が日射で温まっている時に、上空に寒気が流れ込むことで上昇気流が発達しやすくなり、積乱雲の発生・発達を促して豪雨となりやすい状態のことを言います。さらにこの時期は、大雨になる要素がいくつも重なることがあり1時間に100ミリ近い記録的大雨を長時間引き起こすこともあります。

また、都市部においては、ヒートアイランド現象による気温の上昇、高層建築物による気流の乱れなどが積乱雲を発達させやすくしているといわれているようです。

日頃から準備を！

大雨が起きた際、素早く対応するためには日頃からの備えが重要です。このような災害に対応するために、みなさんも自らの身を守るため、普段から次のようなことに心がけ、準備・確認をしましょう。

1　住んでいる地域で過去に水害、土砂災害があったかどうか確認しましょう。
2　いざという時の避難場所、避難経路の確認をしましょう。
3　非常時に持ち出す荷物の準備をしておきましょう。
4　テレビやラジオにより最新の天気予報の確認をしましょう。

家族みんなで消防体験 『こどもの消防広場 サマーフェスティバル』開催

かじなしくん

消防局では夏休みのイベントとして、7月20日(土)午前10時から12時まで北消防署及び大野消防訓練場（大野町4丁目2163番1号）で「こどもの消防広場サマーフェスティバル」を開催します。

子供たちがいろいろな遊びや体験を通して、火災予防や防災について楽しく学べるよう、たくさんの催し物を用意しています。消防車両等の展示やはしご車の試乗体験、さらに消防音楽隊の演奏や女性消防官による腹話術、特別救助隊の訓練のほか、住宅用火災警報器の展示・解説も行います。

会場となる北消防署は訓練場を備えた緑豊かな消防署です。

昨年も小さなお子様から大人まで、大勢の人たちでにぎわいました。

ぜひこの機会に、消防署を見学しながら、夏休みの思い出や絵日記の1ページとして、ご家族みなさんで消防体験をしてみませんか？

注目！！
こども消防士が放水中

かじなしちゃん

※会場には駐車場がありません。電車・バス・自転車等をご利用いただきご来場をお願いします。

また、雨天の場合は中止となりますので、開催日当日は消防テレフォンガイドへ、その他ご不明な点は消防局、予防課へお問い合わせ下さい。

消防テレフォンガイド
TEL 333・3636
消防局　予防課
TEL 333・2116
（平日9時～17時）

ちびっこ救助隊参上！

水難事故に注意！

これから気温の上昇とともに、魚釣り、バーベキューやキャンプ等、河川へ遊びに行く機会が増えると思います。暑い季節の水遊びは家族にとって楽しみな行事ではありますが、一つ間違えると取り返しのつかない事故につながります。自然の状況は刻々と変化しますので楽しく河川で遊ぶためには次のことに十分注意してください。

事故を防止するには

1　飲酒して河川に入ることは絶対にしない。
2　天気が良くても河川が増水しているときは入らない。
3　上流地域での集中豪雨などによる急な増水に注意する。
4　釣りをする時はライフジャケットを身につける。
5　保護者は子供から目を離さない。
6　テレビやラジオにより最新の天気予報の確認や、防災無線を聞く。

子どもの水難事故防止のために保護者の方にお願い！

1　事故は、目を離したわずかな隙に発生している。
2　危険な場所は、親子で現地確認し、危険性を教える。
3　子供だけでの水遊びをさせない。
4　水泳中や水遊び中、子供から目を離さない。
5　浮き輪を使っているからと安心しない。

水辺の危険性を知るだけでなく、万が一に備え、応急手当を身につけましょう。

消防団長就任挨拶

消防団長　髙橋　廣孝

平成25年4月1日より市川市消防団長を拝命いたしました髙橋です。

平素は、本市消防団の運営や活動に対し、ご理解とご協力をいただき心より感謝を申し上げます。

さて、ご承知のとおり消防団員は、その地域に居住又は勤務されている方が団員となっておりますので、地域との繋がりが深く、地域の特性について豊富な知識を有しています。常に強い責任感を持って、「自分たちのまちは自分たちで守る。」を合言葉に、災害はもとより火災予防啓発活動やパトロールなど、消防団の特性を生かし、地域に密着した活動を続けております。

この様な中、「東日本大震災」以降、報道等で大きく取りあげられております東南海地震は30年以内に発生する確率が高い数値を示しており、いつ発生してもおかしくない状況にあります。

市川市においても地域防災計画が大きく見直され、新たな被害想定も出されました。我々消防団は、市民の皆様の被害を少しでも軽減するため、日頃からの訓練はもとより、防火防犯活動など、地元に根付いた活動を続け、住民の期待と信頼に応えるよう、各種イベント等における防火啓発活動等を行いながら、安全で安心な地域づくりに努めてまいります。

どうか市民の皆様におかれましても、我々消防団の使命をご理解いただき、市民と消防職団員、そして行政が一体となって、災害に強いまちを築上げることができるよう、ご協力を賜ります様お願い申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

昨年の消防団消防操法大会の様子

平成25年度新規採用職員の紹介

消防局では、平成25年度に19名の職員を採用しました。現在、5人の職員が千葉県消防学校で6ヶ月間の厳しい訓練を受けています。

また、すでに消防署に配属されている14名の職員も日夜消防業務に取り組み、一生懸命頑張っています。ここで19人の新規採用職員達の意気込みを紹介します。

かじなしくん

東消防署　安井　徳弘
若さと元気で市川市の安心・安全を守ります。

南消防署　佐藤　和将
一人前の消防士になれるよう頑張ります。

広尾出張所　白澤　佑典
楽しく、真面目に仕事に取り組みます。

北消防署　阪口　篤史
私はレスキュー隊に入り、大会で優勝します。

東消防署　村田　憲亮
新人らしく、元気ハツラツ頑張ります。

西消防署　小川　千亜希
何事も諦めずに、最後までやり遂げる。

西消防署　石田　晃洋
早く現場の力になれる様、頑張ります。

北消防署　萩原　志朗
市民や先輩方に認められるよう頑張ります。

東消防署　中澤　朗
市川を守り、支えられる存在となりたいです。

西消防署　濱田　直樹
市川市民の生命、身体、財産そして、笑顔を守れるような消防士になりたいです。

南消防署　三田　洋介
消防士としての自覚を持ち精進します。

北消防署　鈴木　寛麻
市民を守れるように周りの人から信頼される消防士を目指します。

東消防署　元吉　将弥
市民の皆様の為、一生懸命頑張ります。

西消防署　田中　道智
市川市民に頼りにされるように頑張ります。

南消防署　栗栖　卓人
しっかりと基礎を作り消防の力になりたい。

曽谷出張所　小島　拓也
市民の方々の安心・安全を守ります。

中山出張所　結城　夏澄
これから精一杯努力していきたいと思います。

国府台出張所　雲野　真貴
市民から信頼される職員になります。

南消防署　大澤　林太朗
市民の方々に信頼される消防士になります。

かじなしちゃん

救急救命士のワンポイントアドバイス

これからの季節、熱中症に注意しましょう！

熱中症とは、室温や気温が高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどくなるとけいれんや意識障害など、さまざまな症状をおこす病気です。

予防対策

・部屋の温度をこまめにチェックしましょう。
　（室温28℃を越えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう。）
・こまめに水分補給をしましょう。
・外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策もしましょう。
・無理をせず、適度に休憩をとりましょう。
・日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを心がけましょう。

応急手当

・涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる。
・エアコンをつけたり、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす。
　（氷のう等で脇の下・太もものつけねなどを冷やす。）
・飲めるようであれば、水分を少しずつこまめに取らせる。

自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、動けない場合や、意識が無い場合、全身にけいれんがみられる場合は、ためらわずに救急車を呼びましょう。